

J A 自己改革推進レポート（J A 鳥取いなば） 3月号

1. J A 鳥取いなば青壮年部通常総会

J A 鳥取いなば青壮年部は 2 月 27 日、令和元年度通常総会を開いた。県青壮年連盟と連携を図り、地域の青年農業者の意見を広く発信し、引き続き、夢のある元気な鳥取県農業・地域をめざしていくことを申し合わせた。任期満了に伴う役員改選では、委員長に福部支部の森本佳祐氏を選任した。



② 支店行動計画実績発表会

J A 鳥取いなばは 2 月 20 日、2019 年度支店行動計画実績発表会を鳥取市の J A 本店で開いた。J A 役職員をはじめ、J A 女性会会員や青壮年部盟友など約 70 人が参加した。管内の 26 カ所ある支店などが、地域に根ざした支店づくりの取り組み成果を報告し、青谷支店が最優秀賞に選ばれた。同 J A は、組合員・地域の利用者にとって、心のよりどころになれるよう、全役職員が意識を高め、毎年様々な活動を展開していく。



③ ハトムギ生産協議会総会

J A 鳥取いなばハトムギ生産協議会は 2 月 7 日、鳥取市の対翠閣でハトムギ生産協議会総会と研修会を開いた。

総会では収支報告や、今年度の活動計画を確認。研修会では、目標反収 200 kg を目指すために作成したハトムギ栽培暦を説明し、出荷実績やハトムギの作付計画について確認した。

横野会長は「ハトムギの加工原料の需要は高く、取引業者の要望は依然として強い。今年は安定収量を確保させ、魅力あるハトムギ生産の機運を高めよう」と生産振興に力を込めた。



④ 第62回家の光全国大会

家の光協会は、福岡市で2月17～18日の2日間、第62回全国家の光大会を開いた。

「家の光」の普及拡大や教育文化活動の取り組みが高く評価され、JA鳥取いなばが「家の光文化賞促進賞」に選ばれた。

また、都道府県代表による記事活用などの体験発表が開かれ、普及・文化活動の部に、JA鳥取いなばの山根賀津雄経済部長が出席し、堂々と発表した。

